

平成20年3月26日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役 中尾 光良
TEL (06)6209-8500(代表)

梧州荒川化学工業有限公司への出資持分増加（完全子会社化）のお知らせ

当社は、平成20年3月26日開催の取締役会において、中国広西壮族自治区に合併で設立している子会社である梧州荒川化学工業有限公司の出資持分を増加し、100%子会社とすることを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 出資持分増加の理由

当社の第1次中期5ヵ年経営計画（平成15年4月～平成20年3月）では、国際展開の一環として中国における市場開拓を推進してまいりました。また、第2次中期5ヵ年経営計画（平成20年4月～平成25年3月）におきましても、伸長著しいアジアを中心とした海外展開を推進してまいります。

中国は当社主要原料であるガムロジンの世界最大の産地でもあり、また近年は経済成長にともないロジン関連化学製品（製紙用薬品、印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤等）の需要も急増しております。当社ではこれまでに、平成7年（1995）に中国の梧州市、香港、翌平成8年には廈門市にそれぞれ現地法人を設立。さらに平成16年（2004）には、上海近郊の南通市に製紙用薬品の製造を中心とする生産拠点として南通荒川化学工業有限公司を設立、また、中国におけるより安定的なロジンの確保と生松脂からロジンおよびロジン誘導体までを一貫生産することによる効率化と品質の向上を目的に、梧州市に広西荒川化学工業有限公司を設立するなど、中国における市場開拓を積極的に推進しております。

このような状況のもと、荒川化学グループとして中国における事業展開をより迅速に実施できる体制を整備し、よりいっそうの中国事業の伸長を目指すために、中国広西梧州松脂股份有限公司出資持分10%を譲り受け、梧州荒川化学工業有限公司を100%子会社化することを決定いたしました。

2. 出資持分増加の概要

出資比率（出資持分の所有割合）の変化

	(変更前)	(変更後)
荒川化学工業株式会社	90%	100%
中国広西梧州松脂股份有限公司	10%	—

3. 日程

平成20年3月 出資持分譲渡契約書締結（予定）

4. 梧州荒川化学工業有限公司の概要

(1) 商号	梧州荒川化学工業有限公司
(2) 代表者	董事長 周比銓 董事總經理 中久芳
(3) 所在地	中国広西壮族自治区梧州市西堤三路1号
(4) 設立年月日	平成7年(1995)6月28日
(5) 主な事業の内容	製紙用薬品、工業用樹脂の製造ならびに販売
(6) 決算期	12月31日
(7) 従業員数	約80名
(8) 主な事業所	本社・工場（梧州市）
(9) 資本の額	登録資本 3,500千米ドル

5. 今後の見通し

梧州荒川化学工業有限公司の完全子会社化にともなう、当社の今期連結業績への影響は軽微であります。

以上

[参考資料]

《荒川化学グループ国際展開の歩み》

明治

9年11月(1876) 荒川政七が大阪市東区伏見町2丁目に生薬商を開業

昭和

6年 1月(1931) 合資会社荒川商店に改組

18年11月(1943) 荒川林産化学合資会社に改称

31年 9月(1956) 荒川林産化学工業株式会社に改組

42年 5月(1967) 天立化学工業股份有限公司（現、台湾荒川化学工業股份有限公司）を設立

43年 5月(1968) 台北駐在員事務所を開設

52年 4月(1977) 荒川化学工業株式会社に改称

57年 5月(1982) ARAKAWA CHEMICAL (USA) INC. を設立

平成

7年 6月(1995) 梧州荒川化学工業有限公司を設立

7年 7月(1995) ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. を設立

7年10月(1995) 香港荒川化学有限公司を設立

8年 8月(1996) 厦門荒川化学工業有限公司を設立

10年11月(1998) ARAKAWA Europe GmbHを設立

15年11月(2003) 上海駐在員事務所を開設

16年 4月(2004) 南通荒川化学工業有限公司を設立

16年 6月(2004) 広西荒川化学工業有限公司を設立